

基本情報

指標番号

2174

名称

急性心筋梗塞患者における抗血小板薬投与割合

分母

急性心筋梗塞で入院した症例数

分子

分母のうち、アスピリン、チクロピジン、プラスグレル、クロピドグレル、チカグレロルのいずれかが投与された症例数

指標群

循環器系疾患 薬剤

意義

治療内容をみるプロセス指標

年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット

DPC 様式 1,F ファイル,EF ファイル

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする。
2. このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。 資源を最も投入した傷病名と主傷病名の ICD-10 コードが下記である症例

ICD-10 コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3. このうち、退院日が入院後 3 日以降である症例。（入院日を 1 とする）。
4. このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。 退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

1. アスピリン、チクロピジン、プラスグレル、クロピドグレル、チカグレロルのいずれかが処方された症例（持参薬登録を含む）。

薬価基準コード 7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
1143001	アスピリン	○	○	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
1143010	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○	○	○
1143700	アスピリン	○	○					
3399007	アスピリン	○	○	○	○	○	○	○
3399001	チクロピジン塩酸塩	○	○	○	○	○	○	○
3399008	クロピドグレル硫酸塩			○	○	○	○	○
3399008	硫酸クロピドグレル	○	○	○	○	○	○	○
3399009	プラスグレル塩酸塩			○	○	○	○	○
3399011	チカグレロル				○	○	○	○
3399100	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○	○	○
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン		○	○	○	○	○	○
3399102	アスピリン・ランソプラゾール			○	○	○	○	○
3399103	アスピリン・ボノプラザンフマル酸塩						○	○

その他

薬剤一覧の出力

はい

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

パーセント

結果提示時の並び順

降順

測定上の限界・解釈上の注意

- アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。
- 座薬（サリチゾン座薬：薬価基準コード 1143700J5029）は、ガイドライン（JCS STEMI 2013）では嘔吐・上部消化管疾患のある患者に適応であると記載あり、2016年の指標定義改訂時に追加した。ただし2014年3月に販売中止となっている。
- 2018年度に指標の改定を行い、アスピリンだけではなくアスピリン、チクロピジン、プラスグレル、クロピドグレルのいずれかが含まれるとする抗血小板薬の使用をみる指標とした。
- 2017年2月にチカグレロル販売開始されたため、2020年の指標定義改訂時に追加した。2020年5月にアスピリン/ボノプラザンフマル酸塩配合剤が新規販売開始で追加した。

参考資料

参考値

- アメリカにおいては90%前後。QIPの過去の指標でも90

参考資料

- Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p. Acute myocardial

infarction: percent of patients who are prescribed aspirin at hospital discharge. 2010 Apr.
NQMC:006061